

★第二連区門徒推進員実践運動研修会開催

去る十月二十一日(金)、本願寺岐阜別院香光殿において「第二連区門徒推進員実践運動研修会」(岐阜教区担当)が開催された。本研修会は新型コロナウイルス感染症流行の影響で二年ぶりの開催となったものの、感染症対策のため各教区ごとにオンライン形式で行われ、高岡教区では西本願寺高岡会館礼拝堂がリモート会場となり、十六名が参加した。

今回は「念仏者の生き方に学ぶ門徒推進員としてお寺と共に歩むために」をテーマに花岡静人さん(研修講師 奈良教区)を講師に迎えて開催された。

問題提起後の話し合い法座では各教区ごとに班別の話し合い法座を行い、報告用紙を岐阜教区にFAXして講師がそれに目を通してまとめの講義を行った。

まとめの講義では報告された内容にご講師が答える方式で進行し、寄せられた報告の中で「僧侶が運動に取り組もうとせず、『お寺と共に』ということができない」という意見に対しては「大変厳しい指摘であり、門徒側の努力だけではどうにもならないことも事実ではあるが、運動は細々とでもし続けていかなければ大きくリバウンドして後退してしまうということがこれまでの経緯を見ても明らかなために、何とかして運動を続けていたいただきたい」と述べられた。また「ウクライナの戦争が話題となっていて、仏教は争わない非戦平和の教えであるから素晴らしい」という意見に対しては、「歴史を見ると、本来の教えは非戦平和でも実際には教えを口実に戦争に協力してきた事実がある。『仏教は平和主義だから平和がもたらされる』とはならない。これまでの歴史を見ても宗教が現実を変えていくよりも現実が宗教を簡単に変えていってしまう。その時代社会の現実という枠内で教えを解釈していくと私

たちは容易に道を誤る恐れがある」と指摘。

また「この研修会でも他の研修会でも坊守の存在や役割について全く触れられないのはおかしいのではないか」という意見に対しては「たしかにその通りで、宗門の規定上では序列や格差は無いはずだが、やはり男性中心という現実がある。運動というのはまさに本当に自分の足元でそれができているかどうか問われる。身の回りから一つ一つ自身が取り組んで変えていっていただきたい」とされた。

最後に質疑応答があり、その中で若い世代に参加してもらうためにはどうしたらよいか、念仏の教えを具体的にどう伝えていけばよいかその方法についていいアイデアがあれば教えて頂きたいという質問があり、「お寺が地域の集会所ではなくなった時あたりから若い世代もさることながら年配の男性がお寺に来なくなっている。入り口には様々な形があつてよいと思いますが、今までの経験からすると知識取得型では長続きしない感がある。やはり人と人とのつながりのようなものが育たないと厳しい。難しいことではあるが何らかの役を引き受けてもらうなどして会う機会を増やしていくしかないのでは」と助言された。



高岡会館報恩講お初夜「親鸞聖人を語る夕べ」

期 日 11月24日(木)午後7時～8時45分
※本年は「うどん」のお齋はございませんのでご注意ください
内 容 第1部 おつとめ(正信偈六首引き)午後7時～
第2部 ご講演 午後7時40分～
テーマ 「越中の歴史から学ぶ浄土真宗」
ご講師 樽谷雅好さん(郷土史家)
岡西法英さん(五位組教願寺住職)
(詳しくは同封のチラシをご覧ください。)

西本願寺高岡会館 報恩講法要のご案内

○下記の通り高岡会館の報恩講を勤めます。

日 時：11月25日(金) 日中—午前10時(※本年は一座のみ)
布 教：青木哲隆師(新湊組覚円寺住職)

※日中(お勤め・ご法話)の後、お齋(お弁当)をお配りし終了となります。

★御同朋の社会をめざす運動のコーナー

中央委員会を終えて

九月十三日西本願寺伝道本部にて二〇二二(令和四)年度第一回「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会がリモート会議形式にて開催されました。本来であれば例年通り七月中に開催される予定でしたが、中央委員の選出が遅れている教区が複数あり、予定より二か月あまり遅れての開催となりました。まず報告事項にて①二〇二二年(令和三年)重点プロジェクトの取り組み状況について②二〇二二年(令和四年)重点プロジェクトの計画と進捗状況について報告がありました。内容としてはコロナ禍の生活様式に合わせ、仏事奨励リーフ作成と配布の説明やそれに伴い重プロリーダー・サブリーダーが教区内の実践目標の理念を高めるために研修会に取り組んでいること。募金の件数と金額の発表。それに伴いキャッシュレス募金の進展状況の報告。海外支援の現況の報告がありました。

次に事務局からの報告事項として、昨年富山教区で惹起した過去帳開示問題についてその後の中央での取り組みについての経過報告がありました。 「過去帳開示問題」を宗報に掲載し過去帳取り扱い基準の遵守を周知徹底したこと、得度・教師習礼や各種養成機関での研修を実施していくことや、各教区・各組での研修会の実施などの取り組みを依頼していくことを報告されました。また富山教区の委員からも、教区内の全組で今回の過去帳開示問題を受けた研修を実施し、来年度以降も引き続き全組での研修を予定していることや運動の推進者を養成するため、各組から一名ずつ選出し、養成に取り組んでいることの報告がありました。

その中で、全組での研修は実施したものの、出席状況はあまり良くなか

ったことを挙げ、問題意識の共有ということが喫緊の課題であると報告されました。

この報告を聞いて、中央、富山教区は具体的に動きを見せているようですが、はたして他教区としてはこの問題をどうとらえているのでしょうか。対岸の火事となっていないでしょうか。私は全教区統一したテーマでの研修会を行い共通の問題意識をもつて取り組むことが必要だと思います。

次に熊本教区から、今年一月に熊本教区の「教区報」の記事中に差別的表現を含む仏教説話を原文のまま掲載し、他教区からの指摘により発覚したと報告がありました。その報告の中で熊本教区の委員からは「問題の本質はその言葉や単語を使うかわからないかではなく、差別的な使われ方をしてきた歴史や、その差別性を執筆者だけでなくチェックした職員も所長も誰も気づかなかつたことだと捉えている」と述べられたうえで、すでに実施したのも含め、この問題についての研修会を開催する等、対応中であるとの報告がありました。

熊本教区の委員から「皆様のご意見もお聞きしたい」というお言葉もありましたので、私はこのことに関して熊本の出来事ではなく全教区の課題、僧侶一人ひとりの課題として同朋運動の視点から差別問題として考えていくことが必要だと意見しました。しかし、発言したのは私と、兵庫の委員からその「教区報」の資料が見れるかという質問があっただけで、ほかの委員からの意見はありませんでした。また、この問題については人権担当の宇野部長からは熊本の取り組みを取りまとめ、また検討させていただきたいとのことで、現段階ではそれ以上の回答はありませんでした。

今回も意見具申を提出した教区は無く、高岡教区も提出しておりませんが、議題の「その他」にて、中央委員会の機能とあり方について高岡教区から

① 今回七月開催の中央委員会が遅れたことについて、遅れた理由、特に委員が選出できないという状況は機能不全の表れではないのか。宗派や総局の権限で何か対応できなかったのか。

② リモート開催では十分に議論ができず、特に重要課題が山積する現状においては対面での開催を求めたい。また、リモート開催にする際の基準などはあるのか。これからもリモート形式前提でいくのか。

の二点について質問をしました

① についてはコロナの影響か、各教区、委員会開催自体が遅れて足並みがそろわなかつたことと、総局が教区を飛び越えて委員の選出することは法的に不可能と回答。②については基準というものとは設定してないが、五十人以上が集まるとなると感染状況によつては対面での開催が難しい。しかしリモートと対面のハイブリッド方式なども今後検討したい。とのことでした。

中央委員会は全教区から委員が選出され会議に臨みます。今回の委員会を振り返ると、そのうち実際に発言したのは五人ほどしかいませんでした。

ご意見のない委員さんの教区は何も思いがないのでしょうか。そんなことはないと思います。御同朋の社会をめざす運動というのなら多くの委員さんのお声が聴きたいと切に感じました。

【中央委員・高岡教区委員会副委員長 城野至界】

◇これからの日程（11/14～12/31）◇

11月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	寺青執行部会
15		仏婦組織委員会
18		仏婦教材正副部会長打合
24	親鸞聖人を語る夕べ	
25	会館報恩講	
29		教区ビハーラ代表者会議
12月		
5		仏婦常任委員・単位会長 会議・実践運動研修会Ⅱ
8	聖典セミナー	寺女研修会
12		講社もち米進納（～9）
13		連区仏壯セミナー（web）
14	常例法座	連区仏壯協議会（web）
17		寺青連研
19		第2回総代会常任幹事会
20	宗派説明会 組長会	
21	法要常任委員会	
28	午前中教務所事務終了 （1月10日（火） 事務開始）	

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

●12月11日（日）

段 證 武 邦 師

（高岡教区）

●12月25日（日）

吉 井 瑠璃子 師

（高岡教区）

※西本願寺が主催し、北日本放送（KNB）にて放送してまいりました毎週土曜日午前5時35分から「西本願寺の時間」は、2022年9月末をもって放送終了となりました。

また、高岡教区及び富山教区が主催し、北日本放送（KNB）にて放送しております毎週日曜日午前6時からの「西本願寺の時間」は、今後も放送いたします。

西本願寺では、動画配信サイトを設置し法話等を配信しております。ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館 12月常例法座】

ご講師： 磯原孝雄氏

（五位組光明寺）

ご講題： 『未定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。